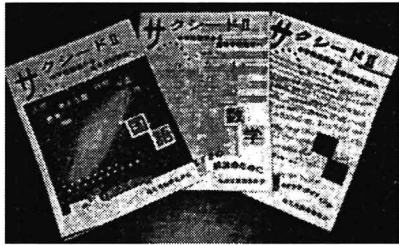


◆新聞から「つなぎ教材の作成」

「中学校と高校の授業連携へつなぎ教材開発」

(福島民報 平成11年 5月13日)

県教委が配布した指導教材「サクシードⅡ」



中・高教育をスムーズに
教材第2弾「サクシードⅡ」配布

県教委

県教委は、中学から高校に進んだ生徒の学習活動をスムーズに進め、理解しやすい授業にするための指導教材「サクシードⅡ」を作成、十二日までに県内の公立中学・高校の全担当教諭に配布した。

基礎学力の向上に重点を置いて昨年作成した「サクシード」の続編で、応用問題に取り組み力の養成を目的としている。

「サクシードⅡ」は国語、

算数・数学、英語の主要三科目ごとに作成した。このうち算数・数学は関数や方程式などのテーマごとに中学、小学にまでさかのぼって、どこに苦手意識が起因しているかを突き止める。

英語は、中学で生徒がつまづきやすい長文読解を中心に、最初から長い文章を理解するのではなく、段落ごとに少しずつ理解して、その積み重ねで全体をつかませる指導法を解説している。

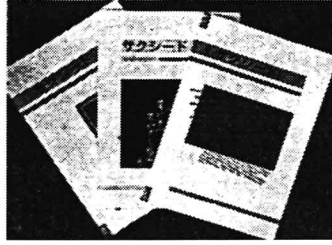
国語は高校での指導が中学のどの指導につながって

いるかを、対称式で見比べることができる。

県教委は「サクシードⅡ」が、今年度までの三年計画で進めている学力向上I・Dプラン、サクセスプランの推進に役立つと期待している。

(福島民友 平成10年 2月28日)

中高連携のために開発したつなぎ教材



中学と高校の授業連携へ

県教委は児童生徒の学力向上策の一環として、中学校と高校の連携した指導のためのつなぎ教材「サクシード」を作製した。国語、数学、英語の教材で、中学校、高校の三教科の教師全員と各市町村教委などに配布し、活用してもらおう。

県教委は、平成八年度に

〈県教委〉

つなぎ教材開発

「大学等志願率向上に関する調査・研究会議」から学力向上策について提言を受けた。つなぎ教材の開発が盛り込まれており、県教委は本年度、各地区ごとに高校と中学校の校長をはじめ教員で組織する「中高連携学習指導研究委員会」を足させた。さらにこの委員

会内の教材作成委員会で、三教科ごとのつなぎ教材の力向上策について提言を受け、開発に取り組んだ。

教材は、本県の生徒が特に弱く、学習でつまづきやすいと考えられる部分に焦点をあて、学習指導のポイントを示した第一章と、さらに指導ポイントを具体的に構成。中学と

国数英の教師に配布

高校の授業内容を対比できるようにするなど、工夫をこらした。

県教委によると、日常の学習指導の参考資料としての本格的なつなぎ教材の開発は、他県では例がないという。教材は三教科ごとに二千部を作製。来月早々に教科担当の中学、高校の全教員のほか、各市町村教委と全学校に配布し、ただちに活用してもらおう。